

3 菊池人  
**齊藤誠一さん**

4 菊池市「新章」始動。  
**千風万来**

12 PICK UP  
**各区の嘱託員(区長)を紹介します**

14 TOPICS  
「菊池健康の里づくり」の取り組みを全国大会で発表/坂村真民展開催/湯ったり菊池の軽トラ朝市/七城方面隊消防操法大会/ヒガンバナが里帰り/菊池女子高生が史跡探訪/迫間川で鯉の滝のぼり/あとげき会の皆さんがテントを寄贈しました

16 健康だより  
**あなたの歯とお口は健康ですか?**  
風しんが流行しています/献血にご協力ください  
歯ッピーキッズ

18 文芸きくち  
図書だより

20 シリーズ菊池遺産/人権同和教育シリーズ  
**菊池夢美術館情報/わいふ一番館だより**  
ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム  
はい!こちら菊池市消費生活センターです!

22 情報つう  
▼お知らせ  
狭あい道路の整備をご存知ですか?/介護予防ミニ講座/金婚夫婦該当者の調査をしています/児童手当現況届の提出が必要ですよ/菊池市消防団協力事業所表示制度/6月の「税」の納期限/平成24年度中山間地域等直接支払制度実績の公表/コミュニティ活動補償制度をご利用ください/菊池市の放射線量/国民生活基礎調査へのご協力を願います/男女共同参画週間/6月は「食育月間」です/平成25年度調理師試験/労働安全衛生法に基づく免許試験/平成26年3月新規学校卒業生対象求人説明会/電波の安全性に関する説明会を開催します/忘れていませんか?米トレーサビリティ法  
▼募集  
菊池市成人式実行委員を募集します/第26回さくち童謡唱歌祭出場者募集/男女共同参画社会づくり地域リーダー研修生募集/平成25年度政府主催慰霊巡拝参加遺族募集/市民ワークショップ参加者募集/菊池市営住宅補充入居者を募集します!/交通遺児奨学生募集/小型船舶免許の更新・失効講習会・受講者募集  
▼相談  
人権擁護委員制度をご存じですか/子どもの人権110番/家事問題相談会/納税相談夜間窓口を開設します/たまな若者サポートステーション/もの忘れ相談会/認知症介護家族のつどい/中小企業のものづくり人材育成に関する相談会/賞金・労務管理・経営相談/子育てプチ相談/こころの相談  
▼イベント・講演講習・市民の広場ほか  
第9回菊池まちづくり道場/すくすく講座開催/わくわく健康教室/認知症サポーター養成講座/きくち夏まつりステージ参加者・白龍担ぎ手募集/市民の広場/ハッピーパースデー/休日在宅当番医

PICK UP TOPICS  
**2013年全国広報コンクール  
組み写真の部で1席を受賞**

2013年全国広報コンクールの総合審査会が4月16日にあり、「広報きくち」が組み写真の部で1席(特選に次ぐ2位)を受賞しました。全国広報コンクールでの受賞は昨年に続き2年連続。このコンクールは、地方自治体の広報活動の向上に寄与することを目的に優秀作品を表彰するもので、1964(昭和39)年から実施されています。この受賞を励みとして、これからも市民の皆さんに親しまれる広報紙づくりに努めていきます。

▼2013年全国広報コンクール1席作品 タイトル「自然の猛威」



(広報きくち平成24年8月号4・5ページ)

**4月末の人の動き**

人口	対前月比
人口: 51,093人	+28
男性: 24,572人	+16
女性: 26,521人	+12
世帯: 18,469世帯	+46
年齢別人口	
~14歳: 6,710人	13%
15歳~64歳: 29,926人	59%
65歳~: 14,457人	28%

**今月の表紙**

迫間地区の前田橋付近で5月2日、鯉のぼりの架設を祝う式典が開催されました。写真は、菊池さくら保育園の園児たちを、滝をのぼる鯉に見立て、大人たちが上流に向けて運ぶときのコマ。参加者は子どもたちを上流へと運びながら、健やかな成長を祈りました。(関連記事15ページ)



**賞賛の数は  
流した汗の数**

自慢の牛の前でトロフィーを持つ  
齊藤さん(左)と3男の勝さん(右)

「牛が好きとですよ」  
頬を緩めながら牛への思いを語る齊藤さん。昨年10月に長崎県で開催された第10回全国和牛能力共進会の肉牛・去勢肥育牛部門で、県内史上最高となる第2位に輝いた。大会から半年を過ぎた今でも「感無量の出来事」と齊藤さんは目を細める。  
牛を飼い始めたのは高校生のとき。「自分で搾った牛乳を学校に持って行っていました」と当時を振り返る。卒業後は本格的に酪農を始め、22歳で念願の牛舎を建てた。その後は順調に規模を拡大し、昭和52年には現在の牛舎を建設。父親が木工だったこともあり「鉄骨部以外は全部自分で建てた」と得意気に話す。しかし昭和63年、腰痛が悪化し手術を余儀なくされた。それでも齊藤さんは牛から離れることはせず、比較的腰への負担が少ない肉牛の生産へと切り替えた。そんな齊藤さんのことを妻の二三枝さんは「とにかく牛が好きで『仕事人間』なんですよ」と笑って話す。齊藤さんも「趣味は仕事」ときっぱり。畜産のノウハウを培い、県内の品評会でグランプリを受賞するなど数々の入賞を収めてきた。良質な肉牛を育てる秘訣は「6割が血統、4割が愛情。こまめにみて病気をさせないことが大事」と説明する。  
次回の全国和牛能力共進会で狙うのはもちろんグランプリ。そして「種牛の部での入賞も目指したい」と新たな目標も決まった。齊藤さんの夢への挑戦は、まだ始まったばかりだ。

**「菊池人」  
希望者を募集します**

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば、自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室まで問い合わせください。

**問い合わせ先**  
市長公室広報広聴係  
☎0968(25)7200

菊池人 20  
**畜産農家**  
さいとうせいいち  
**齊藤誠一さん (65歳・住吉)**

全国の優秀な和牛が一堂に会し、優劣を競う全国和牛能力共進会は、5年に一度の開催で「和牛のオリンピック」とも呼ばれている。齊藤さんが2位になった部門は、全国から76頭が出品された激戦区だった。「自信があった」と出品前から手応えを感じていたことを齊藤さんは打ち明ける。今年、経営を3男の勝さんに引き継いだ。勝さんは「プレッシャーはありますが、いつか父を超えられるように頑張りたい」と頼もしい。「牛が好きなのは昔と全く変わっていません」と齊藤さん。牛への深い愛情とたゆまぬ努力が、安全・安心で良質な牛肉を生み出している。